

いわて県民計画（案）

資料 1

のあらまし

ゆたかさ・つながり・ひと ～ いっしょに育む『希望郷いわて』～

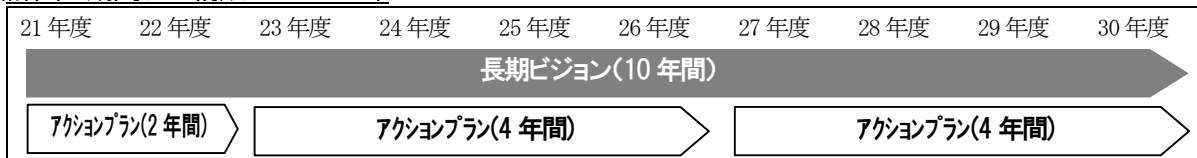
-))) 県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」の策定を進めています。この計画は、これからの希望あふれる岩手を実現していくため、概ね 10 年後を展望しながら、私たち県民みんなの力を結集し、それぞれの希望に向かって行動していくための羅針盤として、できるだけ多くの県民の皆さんに計画づくりに参加していただき、そのご意見を反映させながら、一緒に練り上げてきました。
-))) この「あらまし」は、10 年後の私たちが実現していきたい岩手の未来を示した「長期ビジョン」やその実現に向けた具体的な取組を示す「アクションプラン」の最終案の内容を分かりやすく紹介しています。

◇ 計画の期間 ◇ 平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画。

◇ 計画の構成 ◇

長期ビジョン	私たちが実現していきたい岩手の未来、7つの政策、6つの構想など	
アクションプラン	政策編	7つの政策の具体的な取組内容 など
	地域編	4広域振興圏の具体的な振興内容 など
	改革編	県政運営の基本姿勢の具体的な取組内容 など

(計画の期間及び構成のイメージ)



◇ 今後のスケジュール (予定) ◇

時期	内容
11 月中旬	最終案の公表
12 月	「いわて県民計画」の策定

長期ビジョンのあらまし

岩手の未来を拓く3つの視点

- グローバル化や人口減少・少子高齢化が進む中、岩手らしさを見失うことなく、主体的に世界に通用する地域の独自性を発揮していくことが重要

「ゆたかさ」をはぐくむ

経済的・物質的な「ゆたかさ」と歴史・文化・環境など、岩手ならではの「ゆたかさ」が調和した真の「ゆたかさ」をはぐくむ。

「つながり」をはぐくむ

人と人、人と地域、地域と世界など、様々な「つながり」（ネットワーク）をはぐくむ。

「ひと」をはぐくむ

歴史・風土・伝統を生かしながら地球規模で考え、地域に根ざして活動できる「ひと」をはぐくむ。

岩手の変化と現状

- **岩手の変化**
 - ◆ 急速なグローバル化の渦中にある岩手
 - ◆ 人口減少・少子高齢化の一層の進行
- **岩手の現状（一強みと弱み）**
 - ◆ **産業**
 - ・進むものづくり産業の集積、全国有数の農林水産業
 - ・県北・沿岸圏域の産業集積の遅れ、ブランド確立の遅れ
 - ◆ **県民生活**
 - ・豊かな自然環境、高まる自主防災組織の体制づくり
 - ・進む医師不足や偏在、地域コミュニティの機能低下
 - ◆ **教育・文化**
 - ・学校・家庭・地域が連携した人材育成、多彩な伝統芸能
 - ・家庭の教育力の低下、地域文化を継承する若者の減少

世界と日本の変化

- **世界の変化**

情報通信技術の進歩などで、ヒト、モノ、資本、情報などが国境を越えて活発に移動、グローバル・スタンダードが広がる一方、ローカル・スタンダードを評価する動き
- **日本の変化**

社会経済システムの行き詰まり、本格的な人口減少社会の到来、価値観の多様化、多様な主体の社会参画の活発化、ローカルを重視する動き

基本目標

はぐく いっしょに育む「希望郷いわて」

岩手のこころを持つ「ひと」が、多様な「つながり」を持ち、岩手の特性を生かした真の「ゆたかさ」をはぐくみながら、「希望郷いわて」を実現

実現していきたい岩手の未来

仕事分野

“いきいき”と働いています。

暮らし分野

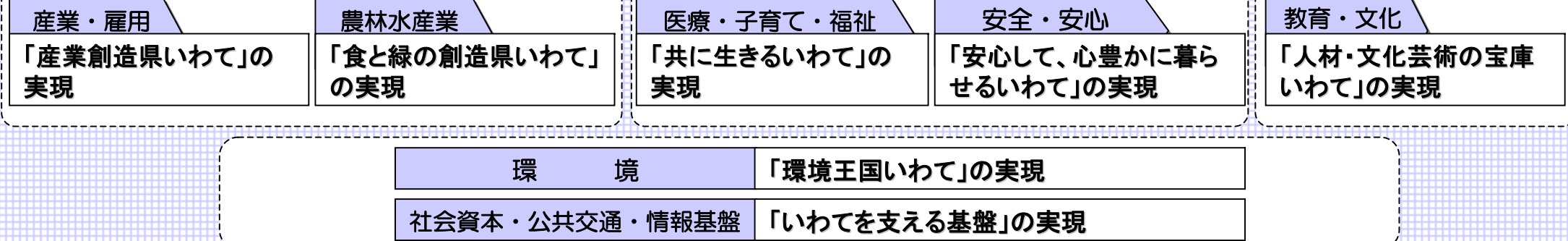
“安心”して暮らしています。

学び・こころ分野

“楽しく”学んでいます。

県民、企業、NPO、市町村や県など、地域社会を構成するあらゆる主体が、共に支え合いながら、総力を結集していく「地域経営」を推進

岩手の未来をつくる7つの政策



岩手の未来を切り拓く6つの構想

- **海の産業創造いわて構想**
三陸の「海」の資源の利用や海洋研究の促進
- **元気になれるいわて構想**
代替療法や地域ツーリズムの展開
- **次世代技術創造いわて構想**
イノベーションパークの形成や相互連携の促進
- **安心のネットワークいわて構想**
人と人、人と地域社会のネットワーク形成
- **環境共生いわて構想**
低炭素社会への転換や環境産業の展開
- **ソフトパワーいわて構想**
ソフトパワーの掘り起こし、育成、発信

地域振興の展開方向

- 4広域振興圏の振興
- 広域振興圏や県の区域を越えた広域的な連携の強化
- 地域コミュニティの強化
- 県北・沿岸圏域及び過疎地域等の振興

県政運営の基本姿勢

- **県民とともに未来を切り拓く県政**
 - ・いわての未来づくりを支える専門集団へ
 - ・いわてを支える持続可能な行財政構造の構築
- **新しい公共サービスのかたちづくり**
 - ・多様な主体による公共サービスの提供
 - ・活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

岩手の未来を切り拓く6つの構想の概要

海の産業創造いわて構想

■ 三陸の「海」の多彩な資源

- ✓ 豊富な漁業資源
- ✓ 我が国屈指の海岸美
- ✓ 三陸のブランドイメージ
- ✓ 漁村風景や漁撈文化
- ✓ 沿岸に分散する港湾・漁港
- ✓ 海洋研究機関の立地
- ✓ 海底・海中資源の可能性
- ✓ 日本海溝に近接

海の産業創造 いわて構想

- ◇ 新規ビジネス創出に向けた仕組みづくり
- ◇ 三陸の「海」の多様な資源の利用拡大
- ◇ 新産業創出等に向けた海洋研究・資源開発の促進
- ◇ 環境と調和した持続可能な産業基盤の形成

● 新商品・新事業の創出

(例) 機能性食品、海洋レジャー、エコツーリズム、観光漁業 など



北山崎サツパ船 アドベンチャーズ

観光地曳網漁

● 海洋バイオ・深海研究の拠点形成など



深海調査船

洋上風力発電 (水産施設での利用イメージ)

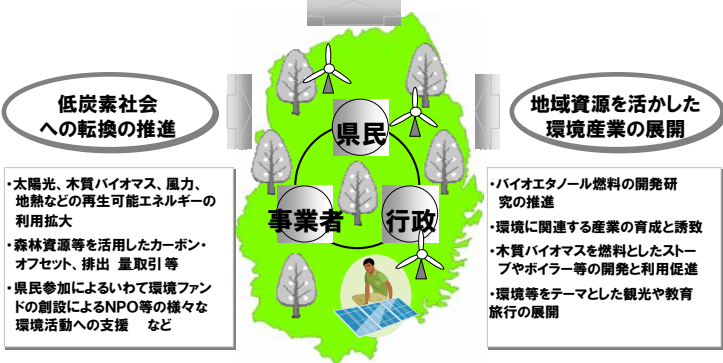
海洋産業の競争力の強化、地域経済の活性化

次世代技術創造いわて構想



環境共生いわて構想

環境と共生する持続可能な地域社会の実現

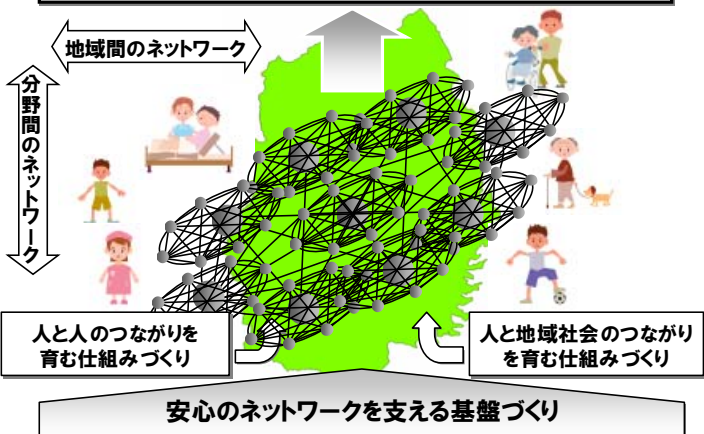


元気になるいわて構想



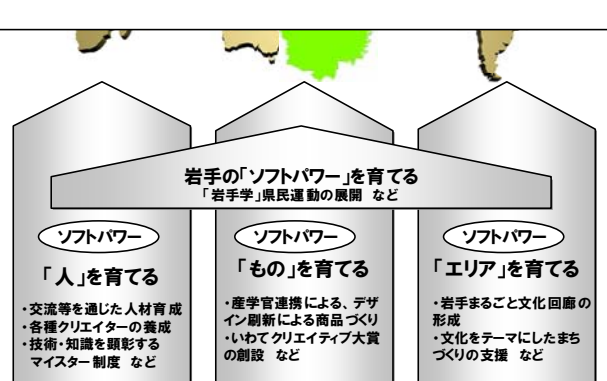
安心のネットワークいわて構想

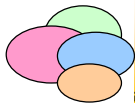
県民が住みなれた場所で安心して暮らすための地域で支え合うさまざまな仕組みづくりと重層的なネットワーク化



ソフトパワーいわて構想

地域の創造性や魅力の源泉となる岩手のソフトパワーを振り起こし、さらに新たな価値を創造、発信





アクションプラン【政策編】の概要

アクションプランの推進

◆県民と一体となった取組の推進

- 地域社会を構成するあらゆる主体が共に支え合い、総力を結集していくことが重要
- 県においては、既存の枠組みや仕組みを超えて、独創力や行動力を発揮しながら、県民、企業、NPO、市町村などとネットワークを築き、課題解決に向けた取組を展開

◆プランの進行管理と弾力的な見直し

- 政策評価システムを確実に機能させた、計画の着実な推進
- 県民アイデアの活用など、県民の政策づくりへの参画
- 県の政策に対する県民意識の把握
- 社会経済情勢の変化などを踏まえた計画内容の見直し

2年間で特に重点的に取り組む「政策推進目標」

県民の「仕事」と「暮らし」を守るとともに、「ゆたかさ」「つながり」「ひと」を育むための基盤をつくる

緊急かつ重大な課題

■雇用環境

求人不足数を改善

■県民所得

国民所得に対する県民所得水準の乖離を縮小

■地域医療

病院勤務医師数の減少傾向に歯止め、救急患者における軽症患者の割合の減少

■人口転出

地域活力の低下をもたらす人口の社会減に歯止め

10年を見据えた課題

■岩手の未来を拓く「ゆたかさ」「つながり」「ひと」の基盤形成
あらゆる分野で、“ゆたかさ”、“つながり”、“ひと”を育むための「呼びかけ」「きっかけ」「仕掛け」づくり

2年間で重点的・優先的に取り組む「7つの政策」と「42の政策項目」

I 産業・雇用

～「産業創造県いわて」の実現～

- 1 国際競争力の高いものづくり産業の振興
- 2 食産業の振興
- 3 観光産業の振興
- 4 地場産業の振興
- 5 次代につながる新たな産業の育成
- 6 商業、サービス業の振興
- 7 海外市場への展開
- 8 雇用・労働環境の整備

II 農林水産業

～「食と緑の創造県いわて」の実現～

- 9 農林水産業の未来を拓く経営体の育成
- 10 消費者から信頼される「食料・木材供給基地」の確立
- 11 農林水産物の高付加価値化と販路の拡大
- 12 「いわて」の魅力ある農山漁村の確立
- 13 環境保全対策と環境ビジネスの推進

III 医療・子育て・福祉

～「共に生きるいわて」の実現～

- 14 地域の保健医療体制の確立
- 15 家庭や子育てに夢をもち
安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- 16 福祉コミュニティの確立

IV 安全・安心

～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～

- 17 地域防災力の強化
- 18 安全・安心なまちづくりの推進
- 19 食の安全・安心の確保
- 20 多様な主体の連携による地域コミュニティの活性化
- 21 多様な市民活動の促進
- 22 青少年の健全育成
- 23 男女共同参画の推進

V 教育・文化

～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

- 24 家庭・地域との協働による学校経営の推進
- 25 児童生徒の学力向上
- 26 豊かな心を育む教育の推進
- 27 健やかな体を育む教育の推進
- 28 特別支援教育の充実
- 29 生涯を通じた学びの環境づくり
- 30 高等教育の連携促進と機能の充実
- 31 文化芸術の振興
- 32 多様な文化の理解と交流
- 33 豊かなスポーツライフの振興

VI 環境

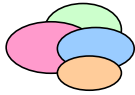
～「環境王国いわて」の実現～

- 34 地球温暖化対策の推進
- 35 循環型地域社会の形成
- 36 多様で豊かな環境の保全

VII 社会資本・公共交通・情報基盤

～「いわてを支える基盤」の実現～

- 37 産業を支える社会資本の整備
- 38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備
- 39 豊かで快適な環境を創造する基盤づくり
- 40 社会資本の維持管理と担い手の育成・確保
- 41 公共交通の維持・確保と利用促進
- 42 情報通信基盤の整備と情報通信技術の利活用促進



アクションプラン【地域編】の概要

県央

10年後を見据えた圏域の目指す将来像

都市と農山村が広域的に連携し合いながら
北東北の拠点としての機能を担う地域

圏域の振興施策の基本方向(平成21年度から平成22年度まで)

I 地域の自立を支える地域経済基盤の確立

《重点施策》

- 1 学術研究機能の集積を生かした新産業の創出と地場産業の振興
- 2 産業と地域のネットワーク化による滞在型観光の振興
- 3 地域ブランドの強化による競争力に優れた農林業の振興
- 4 雇用環境の改善
- 5 産業経済活動、地域間交流を支える社会資本の整備

II 快適で安全・安心な地域社会の形成

《重点施策》

- 6 安心で健やかな暮らしを支える保健、医療、福祉の充実
- 7 新エネルギーの積極的な導入など環境との共生を図る循環型地域社会の創造
- 8 北東北の拠点にふさわしい都市環境、生活環境の充実
- 9 住民の生命と財産を守る防災施設等の整備

県南

10年後を見据えた圏域の目指す将来像

「連繋」と「協働」により、地域の資源を生かしながら
世界に誇れる岩手をリードする地域

圏域の振興施策の基本方向(平成21年度から平成22年度まで)

I 地域のあらゆる資源を生かしながら、世界に通じる技術と個性ある地域素材が織りなす強い地域産業が躍動する社会の構築

《重点施策》

- 1 雇用環境の改善と若者の地元定着
- 2 世界に通用するものづくり基盤の構築
- 3 観光産業の振興
- 4 食産業の振興
- 5 持続可能な地域農業の推進
- 6 持続可能な林業・林産業の推進
- 7 伝統的地場産業の振興
- 8 社会資本整備の推進

II 助け合う風土や豊かな自然を大切にしながら、安全で安心して暮らせる住みよい地域社会の形成

《重点施策》

- 9 地域医療・健康危機管理体制の構築
- 10 勤労者が健康で安心して働ける環境づくり
- 11 高齢者が健康で安心して生活できる地域づくり
- 12 障がい者の地域での自立及び就労支援
- 13 住民の暮らしを守る防災対策の推進
- 14 環境と共生した持続可能な地域社会の構築
- 15 暮らしの環境とまちづくりの推進

沿岸

10年後を見据えた圏域の目指す将来像

三陸から世界へ挑む産業が躍動し、
海陸の交流拠点としての機能を担う地域

圏域の振興施策の基本方向(平成21年度から平成22年度まで)

I 地域の自立と活力を生み出す産業の振興

《重点施策》

- 1 地域経済をリードするものづくり産業の集積
- 2 産業を支える社会基盤の整備
- 3 雇用環境の改善
- 4 地域産業の基盤としての農林水産業の振興
- 5 沿岸の農林水産資源を活用した食産業の展開
- 6 総合産業としての観光の展開

II 安全・安心な暮らしができる三陸地域の形成

《重点施策》

- 7 地震・津波等の災害に強いまちづくりの推進
- 8 住み良い暮らしの環境づくりの推進
- 9 良好な自然環境の保全と活用による環境との共生の実現
- 10 安心して子どもを産み育てることができ、健やかに長寿を楽しむ社会の実現
- 11 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保及び健康づくりの展開

県北

10年後を見据えた圏域の目指す将来像

培われた知恵・文化、多様な資源・技術を生かし、
八戸圏域等との交流・連携を深めながら、
持続的に発展する活力みなぎる地域

圏域の振興政策の基本方向(平成21年度から平成22年度まで)

I 地域の自立を可能とする産業経済基盤の構築

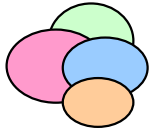
《重点施策》

- 1 農林水産業の担い手育成と産地形成
- 2 地域資源を生かした食産業の振興
- 3 体験型・交流型観光の展開
- 4 ものづくり産業の集積
- 5 雇用環境の改善
- 6 産業を支える物流基盤の整備

II 安全・安心に暮らせる地域社会の形成

《重点施策》

- 7 地域における医療と健康づくりの推進
- 8 地域で支えあう福祉の推進
- 9 環境の保全
- 10 防災・危機管理対策の推進
- 11 定住環境の整備



アクションプラン【改革編】の概要

これまでの取組：岩手県集中改革プログラム(H19～H20まで)

背景

社会経済状況の変化(人口減少・少子高齢化、価値観多様化など)や厳しい財政状況

県民本位の分権改革

- ① 市町村の行財政基盤強化の支援、広域振興局体制整備の基本的考え方を提示
- ② 官民協働の拡大に向けた仕組の整備(コンビニ包括協定1件)、第2期指定管理者の指定、岩手型市場化テスト試行 など

行財政基盤の強化に向けた改革

- ① 職員憲章制定、一般競争入札の拡大、コンビニでの県税納付
- ② 事務事業総点検の実施(168事業廃止)、政策評価手法の見直し、総人件費抑制85億円(職員755人純減)
- ③ 出資等法人整理3法人、県派遣職員24名減員 など

～ 集中改革プログラムに基づく取組を着実に推進 ～

環境

危機の底流は変わらないが、経済状況など一層厳しさを増している状況

主要な対応課題

- ① 分権システム構築の加速化
- ② 多様な主体との協働の加速化
- ③ スリムな執行体制維持と一層の高機能発揮
- ④ 行財政の一層の簡素・効率化

改革の基本姿勢

長期ビジョン：県政運営の基本姿勢(H21～H30)

～ 「希望郷いわて」を支える県政運営 ～

1 県民とともに未来を切り拓く県政

■ いわての未来づくりを支える専門集団へ

■ いわてを支える持続可能な行財政構造の構築

2 新しい公共サービスのかたちづくり

■ 多様な主体による公共サービスの提供

■ 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

アクションプラン：改革の基本姿勢

～ 改革に当たっては、次の姿勢で取組を推進 ～

◆ 県の有する経営資源を最大限活用した行政サービスの提供

◆ 真の「ゆたかさ」に繋がる「ひと」づくり、「つながり」づくりの推進

◆ 県民本位の姿勢で自信と誇りを持って県民と共に考え行動

アクションプラン：基本姿勢を踏まえた4つの改革(H21～H22)

【改革1】 組織パフォーマンスの向上

- ・広域振興局体制・本庁体制の整備、権限の見直し
- ・地域に根ざした施策展開ができる人材育成強化
- ・職員憲章の徹底、自主的・自律的な改革改善
- ・透明性の確保、県民参画の推進 など

【改革3】 民間力・地域力が最大限に発揮される仕組みづくり

- ・多様な主体との継続的な協働等の仕組みづくり
- ・新たな官民ネットワークの形成
- ・新たな手法導入による公共サービス改革
- ・県民との知識や情報の共有や提供機能の充実 など

【改革2】 行財政構造の徹底した簡素・効率化

- ・政策の選択・集中による行財政改革の一層推進
- ・歳入の確保強化、歳出の徹底した見直し
- ・財政状況の透明化
- ・公営企業・外郭団体の改革・効率化
- ・総人件費の抑制、職員4,000人体制実現 など

【改革4】 県と市町村の役割分担の再構築

- ・第二次分権改革への対応
- ・市町村合併の推進
- ・市町村への権限移譲等基盤強化の支援
- ・広域振興圏ごとの県市町村協議の場の設置
- ・広域振興局による支援強化 など

「いわて県民計画」の詳しい内容は、岩手県のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

また、計画に関するご意見・お問合せは、下記までお寄せ下さい。

岩手県 総合政策部 政策推進課

〒 020-8570 岩手県盛岡市内丸 10 番 1 号

TEL 019-629-5508, 5509

FAX 019-629-5514

E メール AA0001@pref.iwate.jp

いわて希望ネット（新しい長期計画策定のページ）

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0151/>